

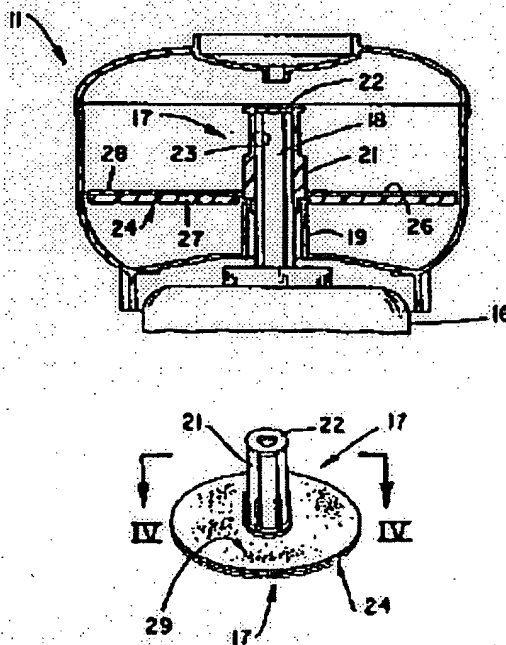
**ACCESSORY PARTS FOR PEELING**

**Patent number:** JP2046276  
**Publication date:** 1990-02-15  
**Inventor:** JIYOOJI JIEI FUEDERIHAI SHINIA  
**Applicant:** JIYOOJI JIEI FUEDERIHAI SHINIA  
**Classification:**  
**- International:** A23N15/08; A47J17/18  
**- european:**  
**Application number:** JP19880190487 19880729  
**Priority number(s):** JP19880190487 19880729

Report a data error here

**Abstract of JP2046276**

**PURPOSE:** To provide a processing processor and its accessory facilitating the tearing off of the husk of food with dried grain hull or husk by engaging an accessory part for treating off the husk with a rotating and grinding surface to a food processing processor with a driving output shaft. **CONSTITUTION:** The driving shaft 18 of the food processing processor 11, which is provided with a vessel holding food to be cooked and the driving shaft 18 extended upward within the vessel so as to be rotated engaged with the accessory part processing the food within the vessel, is provided with a tube-like hub 21 formed so as to be engaged with the driving shaft and positioned in a coaxial relation with the driving shaft and is additionally composed of the accessory part 17 provided with a disk 24 consisting of a grinder-like surface 26 fixed to the hub in a coaxial relation with the hub and facing upward when the accessory part is engaged with the driving shaft 18 and a comparatively thick lower part it is fixed to.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

平2-46276

⑬ Int.Cl.<sup>5</sup>A 23 N 15/08  
A 47 J 17/18

識別記号

A

庁内整理番号

7803-4B  
8931-4B

⑭ 公開 平成2年(1990)2月15日

審査請求 未請求 請求項の数 10 (全4頁)

⑮ 発明の名称 剥皮用付属部品

⑯ 特 願 昭63-190487

⑰ 出 願 昭63(1988)7月29日

⑱ 発 明 者 ジョージ・ジェイ・フ アメリカ合衆国カリフォルニア州94103, サン・フランシ  
エデリハイ・シニアー スコ, サーティーンズ・ストリート 70 フェデリハイ・  
フード・マシナリー内

⑲ 出 願 人 ジョージ・ジェイ・フ アメリカ合衆国カリフォルニア州94103, サン・フランシ  
エデリハイ・シニアー スコ, サーティーンズ・ストリート 70 フェデリハイ・  
フード・マシナリー内

⑳ 代 理 人 弁理士 湯浅 恭三 外4名

## 明 細 書

## 1. (発明の名称)

剥皮用付属部品

## 2. (特許請求の範囲)

1. 食品加工物を入れる容器と、該容器の中で食品加工用付属部品と係合可能な上方に向いた駆動軸とを有する食品加工処理装置の剥皮用付属部品であって、該駆動軸と係合するように形成されて該駆動軸と共軸に位置決めされたハブと、該ハブを該駆動軸と共に回転させる手段と、該ハブと共軸の関係で該ハブに固定されそして該付属部品が該駆動軸と係合した時上方を向く砥石状表面を有しているディスクと、を備えた剥皮用付属部品。

2. 該付属部品の該ディスクが該容器の内径にほぼ適合する直径を有している特許請求の範囲第1項に記載の剥皮用付属部品。

3. 該ハブが、該ディスクから上方に伸びかつ該駆動軸の上側部分を受入れることが可能な軸方向通路を有し、さらに、該ハブの上端には、該通路

の上端を少くとも部分的に横切って伸び該駆動軸の上端に対向して取付けられてそれにより該駆動軸上に該付属部品を支持する辺縁部を有している特許請求の範囲第1項に記載の剥皮用付属部品。

4. 該駆動軸と該ハブの該軸方向通路が、適合する非円形の断面形状を有している特許請求の範囲第3項に記載の剥皮用付属部品。

5. 該ハブは、該辺縁部が該駆動軸の該上端に対向して取付けられた時、該容器内の中間レベルに該ディスクを位置決めする長さを有している特許請求の範囲第3項に記載の剥皮用付属部品。

6. 該ディスクが下層部分を備えた積層構造を有し、該下層部分は該ハブと一体となっておりそして上層部分のシート材は該下層部分に接着され、該シート材は上面に研磨用グリットの被覆を有している特許請求の範囲第1項に記載の剥皮用付属部品。

7. 該食品加工処理装置の該容器が、該駆動軸と共軸でありかつ該容器内で該容器の中間レベルまで上方に伸びる円筒形のスリーブ部分を有し、そ

特開平2-46276(2)

して該付属部品の該ハブが、該ディスクの下に伸びかつ該付属部品が該駆動軸と係合した時該スリーブの上端に嵌合する寸法関係にある下側部分を有している特許請求の範囲第1項に記載の剥皮用付属部品。

8. 該ハブは、該付属部品が該駆動軸と係合する時該スリーブの先端とはほぼ同一の平面に該ディスクを配置するような寸法関係にある特許請求の範囲第7項に記載の剥皮用付属部品。

9. 食品加工処理装置の剥皮用付属部品であって、砥石状の表面を有する材料で造られた上層部分と該上層部分が固定されている比較的厚い下層部分とを有する複層ディスクと、該ディスクの中心部で該ディスクを貫いて伸びそして該ディスクと共軸にありさらに該ディスクの下層部分と一体となり、該食品加工処理装置の駆動出力軸を受入れるように形造られた非円形断面の形状をした軸方向通路を有している管状のハブとを備えている剥皮用付属部品。

10. 加工される食料品を保持する容器と、該容器

さで素材を混合することを可能にする。

これまでは、食品加工処理装置は、乾燥しかつ時折砕けやすい穀皮又は他の皮で特徴付けられる食物の剥皮には特に適していなかった。ガーリックやある種の乾燥玉ねぎは、他の調理の素材に添加される前に一般的に剥皮することを必要とする食品の一例である。

今までは、ガーリック等はナイフ又は同様な器具を使って手で剥皮していた。この処置は、望ましくない繁雑さと時間の浪費をもたらしかつ一部の調理人の間断のない注意力を必要とする。ガーリックの香りは調理人の手と布きれに滞留する傾向がある。玉ねぎの剥皮中に発散する揮発性物質はまた目を刺激する。

ハ. 発明が解決しようとする課題

剥皮作業が食品加工処理装置を使用して行われ得るならば、上述のような種類の食品を含む食事の準備はもっと早くかつ容易に行われ得るであろう。

本発明は、上述の問題点の一つ又はそれ以上を

内で食品を加工する付属品と係合し回転させるように該容器内上方に伸びる駆動軸とを有する食品加工処理装置において、該食品を加工する付属品が該駆動軸と共軸関係に配設され、該駆動軸と係合して回転し、そして研磨用グリットを被覆した上面を具備したディスクを有する剥皮用付属部品である改良された食品加工処理装置。

3. (発明の詳細な説明)

イ) 産業上の利用分野

本発明は食品の加工処理装置、特定すれば乾燥した穀皮又は外皮を有する食料品の剥皮を容易にする加工処理装置及びその付属部品に関する。

ロ) 従来の技術

食品用容器と、容器の中に伸びて種々の交換可能な食品細断用付属部品のいずれかを回転する駆動軸とを有する食品加工処理装置は、業務用においても家庭用においても食事の準備を大幅に容易にする。このような装置は、食品の素材を種々の形に細かく裁断すること及び(又は)ナイフやその他の手道具では実現不可能な程度の速さと正確

解決することを目的とする。

ニ) 課題を解決するための手段

一形態において、本発明は、食品用容器と、その容器内の食品を加工する付属部品と係合可能な上方に向いた駆動回転軸とを有する食品加工処理装置の剥皮用付属部品を備えている。この付属部品は駆動軸と係合するように形成されたハブを備え、このハブは、駆動軸と共軸関係で位置決めされている。さらに付属部品はハブを駆動軸と共に回転させる装置を有している。ディスクは、ハブと共軸関係でハブに固定されかつ付属部品が駆動軸と係合した時上方に向いた砥石状の表面を有している。

本発明の別の形態においては、食品加工処理装置の剥皮用付属部品は、砥石状表面をした材料でできた上層部分と、さらに上層部分が固定された比較的厚い下層部分とを有している。管状のハブはディスクの中心部を貫いて伸びている。この管状ハブはディスクと共軸でありかつディスクの下層部分と一体になっている。該ハブは、食品加工

処理装置の駆動出力軸を受入れる形状をした非円形断面形状の軸方向通路を有している。

さらに別の形態において、本発明は、調理されるべき食料品を保持する容器と、容器内で食品を処理する付属部品と係合して回転させるように容器内へ上方に伸びる駆動出力軸とを有する食品加工処理装置を備えている。食品を加工する付属部品は、駆動出力軸と共軸関係で配設されたディスクを有しそれにより該軸と係合して回転する剥皮用付属部品である。ディスクの上面は砥石状のグリットで被覆されている。

本発明は、ガーリックの球根等の乾燥した幾分もろい外皮をすばやくすりへらす食品加工処理装置の食品容器内に回転する研磨面を備えている。剥皮作業は、ナイフを使って手で剥皮する場合のような危険を伴わずに、すばやく、容易に行われる。さらに、調理人は、生のガーリック又は玉ねぎを剥皮する間に発散する揮発性のある芳香成分による有害な影響を少ししか受けない。

軸18は垂直方向に芯出しされて食品容器13と軸芯が合っている。駆動軸18は、この型式の食品加工処理装置11では六角形断面をしており、容器の底部で円筒形スリーブ19を通り容器13の中へ上方に伸びている。軸18はスリーブ19の上端を上へ伸び容器13内のほぼ高レベルに達している。

第2図と第3図を関連させて参照すると、剥皮用付属部品17は駆動軸18の上部に嵌合するような寸法関係にある管状のハブ21を有している。ハブ21の上端には環状の辺縁部22を駆動軸18の上部に対向して取付けておりこの環状辺縁部22は容器13及びカバー14で囲まれた空間内で中位の高さにハブを保持する。その配置では、ハブ21の下端はスリーブ19の上端に少しばかり伸びている。このことはスリーブの中へ剥れた皮が入るのを防止する。

第2図及び第4図を参照すると、ハブ21内の軸方向通路23は、食品加工処理装置の駆動軸18に適合する六角形断面を有している。従って、ハブ21は、電動機16が作動した時軸18により回転させられる。

#### 実 施 例

第1図を参照すると、本発明を適用し得る型式の食品加工処理装置11は、種々の形状を取ることが可能でありかつこの特定の例においては円筒形の食品容器13を支持する直立形胴体部12を有する形状となっている。容器13と容器の着脱可能なカバー14は透明な材質で形成されて食品を加工処理する操作の進み具合を容易に観察できることが望ましい。胴体部12内の電動機16が食品加工処理装置11を駆動する。

上記食品加工処理装置11の構成要素に適した詳細構造は当業者には公知である。本発明の食品加工処理装置11は、容器内の食品加工要素が剥皮用付属部品17である点で従来の構造と異っている。この剥皮用付属部品17は常設の要素としてもよいが食品加工処理装置が剥皮操作以外にも使用される場合には、本実施例の剥皮用付属部品17を食品加工処理装置からはずして別の部品を取付けて他の作動を行わせることが可能である。

第2図を参照すると、電動機16からの駆動出力

再度第2図と第3図を参照すると、剥皮用付属部品17は、ディスク部分24を有しており、さらに、ハブ21と同軸であってハブと一体に形成されていてもよい。ディスク24は、容器13の内径と適合する直径を有しかつスリーブ19の上部の直上でハブ21の下端付近にハブ21に繋っている。

ディスク24は砥石状上面26を有しその砥石状上面はこの装置が作動している時、ディスク上に乗っているガーリックの球根又は同等品の乾燥した砕け易い外皮をこすり又はすりつぶす。ディスク24は上面に微細な鋭い突起物を有する金属で形成されてもよいけれども、本実施例はプラスチック材のハブ21と一体となった硬質プラスチックの下層部分27を有する好都合な積層構造を有している。上層部分28は接着剤で下層部分27に取付けられたサンドペーパーのような砥石状シート材である。サンドペーパーは表面26が適度に粗目のグリット29を有する等級のものであることが望ましい。

作用において、食品加工処理装置11のカバー14

特開平2-46276(4)

を一時的に取外して剥皮されるガーリックの球根等をディスク24上に置く。次にカバー14を閉じて電動機16を作動させる。この時、砥石状表面26が回転し該表面と接触しているガーリックの球根等の外皮をすりつぶす。ディスク24の回転でさらに球根等は攪拌され転って球根の外皮の部分がディスクと接触しそして短時間で剥皮される。次に、食品素材として使用される球根の中味部分のすりつぶしを最少限にするために食品加工処理装置11を停止する。容器13は透明であるので容易に剥皮作用の鑑察が可能となり加工処理が完了した時電動機16をすばやく停止させることが可能となる。次に、カバーを取外してガーリックの球根を取出してもよいし又は駆動軸18から器具17を持上げて剥皮物を取出してもよい。剥皮作用は、非常にすばやく、しかもこのような食品を手動で剥皮する時に経験する困難性や問題なくして行われる。

本発明は、単一の好適実施例に対して記載されているけれども、多くの構造的な変形が可能であり従って特許請求の範囲に記載されたものを除い

て本発明を限定することを意図するものではない。

#### 4. [図面の簡単な説明]

第1図は本発明の実施例の食品加工処理装置の斜視図、第2図は第1図の装置をII-II線に沿って切取った時の上側部分の断面図、第3図は食品加工処理装置から取外した状態を示すガーリック等を剥皮する付属部品の斜視図、第4図は第3図の付属部品をIII-III線に沿って切取った場合の付属部品の平面図。

- |              |           |
|--------------|-----------|
| 11: 食品加工処理装置 | 13: 容器    |
| 17: 剥皮用付属部品  | 18: 駆動軸   |
| 19: スリーブ     | 21: ハブ    |
| 22: 環状刃縁部    | 23: 軸方向通路 |
| 24: ディスク     | 26: 砥石状上面 |
| 27: 下層部分     | 28: 上層部分  |
| 29: グリッド     |           |

代理人 弁理士 湯 浅 恭

(外4名)

